



# 黒川大好き 仲よくがんばる

「返事・挨拶・感謝の言葉」笑顔いっぱい黒川小

伊万里市立黒川小学校 学校便り 令和8年5月1日発行 第2号



【黒川小HP】  
文責：井手

## 5月はつながりを深める月に

今日から5月です。あっという間に1か月が経ちました。新しいクラスにも慣れてきたところです。5月は、気候も良く、心も体も動かしやすい季節です。また運動会もあります。そこで、5月は「つながりを深める月」にしようと、全校朝会で話しました。

始業式に話した**つながるための3つの「あ」**の振り返りと、**つながる土台となる「対話」**について話しました。「対話」とは、ただ話すことではなく、相手の話を聞き、自分の考えを伝え、お互いを分かろうとすることです。意見が違う人も、お互いの話を聞き、「折り合いを付ける」ことが大切です。これは、子どもたちばかりではなく、私たち大人も同様です。子ども同士、子どもと大人、大人同士、それぞれの関係の中で、対話を通して、つながりを深めていきたいものです。



### 4月10日（金）入学式 「全校とつながる」

4月10日（金）残念ながら雨の中での入学式となりましたが、かわいくて元気いっぱいの1年生10人が新たに仲間入りし、今年度の全校児童は74名となりました！！

年々児童数が減少していますが、見方を変えれば、一人一人に目が届くとも言えます。入学式では、名前を呼ばれると1人1人しっかりと返事をしてみんなに顔を見せてくれました。長い私の式辞も最後まで頑張って話を聞いてくれました。

式辞では、**1.「誰にでも温かい言葉遣い・あいさつをしよう」** **2.「人の話をしっかり聴こう」** **3.「自分もお友達も大事にしよう」**を頑張ってほしいと話しました。また、上級生には、**「できないからと言って手を出しすぎないでほしい」**とお願いしました。3月まではそれぞれの園で年長さんとして、みんなのお手本として頑張っていた子どもたちなので、「知らない」だけなのです。なので、その「知らないこと」をやさしく教えてほしいと思います。

どうしても、1年生がかわいいので、みんながかわいがりすぎて保育園や幼稚園でできていたことができなくなる傾向にあると言われていています。なので、今年は、1年生のみんなができることを増やすために、関わりの深い3・6年生には、見守ったりサポートをしたりするようお願いしたところです。

これで、本年度の黒川のメンバーがそろいました！みんなで力を合わせて、頑張っていこうと思います。今年もたくさんの方にご出席いただきました。保護者や地域の皆様、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



## 4月16日(木)1年生を迎える会 「全校とつながる」



4月16日の5時間目に1年生を迎える会がありました。1年生は恥ずかしそうにしている人もいましたが、全校児童の前でしっかりと自己紹介をすることができました。

その後のゲーム「貨物列車」は、いろいろな学年の人とじゃんけんをして、負けたら後ろにつながっていくゲームでした。3回戦まであり、最後は、見学していた人ともじゃんけんをして、全

員で楽しむことができました。全校で「キラリ大作戦」を合唱した時は、みんなが当たり前のように踊りながら歌っていたのに驚きました。みんなノリノリでとても楽しかったです。今日の集会で、さらに、みんな仲良くなれたと思います！



## 4月28日(火)学習参観・育友会総会・学年懇談会 「保護者とつながる」

今年度初めての学習参観でしたが、いかがだったでしょうか。たくさんの保護者の皆様に来ていただき、子どもたちや先生方もちょっと緊張して授業に臨んでいました。(いつもの雰囲気とは違うクラスも!?)しかし、子どもたちはおうちの方が来てくださって、とても嬉しそうでした。

育友会総会では、会費や役員の変更が決議しました。ご理解とご協力、ありがとうございます。また、昨年度の会長の梶原様、副会長の真島様は育友会活動の推進にご尽力いただきありがとうございます。今年度も顧問としてお世話になります。今年度の会長中島様をはじめ、新役員の皆様、お忙しいとは思いますが、黒川小学校の子どもたちのために、どうぞよろしくお願いいたします。

学年懇談会では、やっと顔を合わせて話ができて、担任も保護者さんも心の距離が近くなったのではないかと思います。今後とも何かあれば、いつでも担任や学校までお声かけください。

7年ぶりに復活となった育友会主催の歓送迎会では、役員の皆様や地域の方々とはざっくばらんな話ができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。転出された先生方が、「黒川口ス」になっているとしみじみと話されたのがとても印象的でした。改めて黒川小・黒川町の温かさを感じることができました。

## 4月30日(木)緑の募金事業「家読の森」完成式典 「地域・自然とつながる」



緑の募金事業は森林の保全や緑化推進を目的として行われているもので、個人や企業からの寄付金が、学校の植樹、災害復旧、森林教育などに使われています。昨年度、本校で、敬愛の坂道のところのつつじの植樹と、学校下の階段の森林の伐採などをしていただきました。総額50万円ほどかかりました。とても、学校だけではできないことをしていただき、本当にありがたいことです。そのお披露目会を先日行いました。児童代表が、「危険だった木を伐採していただき、安心して生活できる」「植えていただいた木や花を大切に、自然に感謝する気持ちを忘れずに生活したい」ということを挨拶の中で述べました。今度、学校に来る機会にでも、ぜひ、見てください。

**【お知らせ】**学校用務員が5月1日より変更になり、松岡隆さんが赴任されました!